

報道関係者各位

2026年1月27日 配信 No.2025-41  
立命館アジア太平洋大学（APU）

## 第3代 高校生特命副学長 2026年2月 エントリー開始 —ないものは、つくればいい。大学はもっとおもしろくなる。—

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、APU）は、2026年度に向けて、第3代高校生特命副学長、サミットメンバーの応募エントリーを2月13日(金)に開始します。

「特命副学長制度」は、米山学長の新プラン「Leap Beyond Global」を実現する取り組みの一環として、2024年に導入した制度です。本制度により、多様なステークホルダーを大学運営に積極的に迎え入れることで、様々な意見・提言をうけ、新たな改革の視点と推進力が生まれることを期待しています。

特命副学長特設サイトの募集要項には、それぞれの役割や活動の詳細を公開しています。また同サイトには現在活動中の高校生副学長の活動報告も掲載しておりますのであわせてご覧ください。

特命副学長特設サイト <https://www.apu.ac.jp/home/futurevisionary-vp>

### 高校生特命副学長 募集概要

- 【募集人員】 高校生特命副学長 1名  
サミットメンバー（高校生特命副学長を支え、共に活動するメンバー） 若干名
- 【募集対象】 2026年4月時点で日本国内在住の高校1年生または2年生
- 【求める人物像】
  - ・大学教育の未来のために課題を提言するだけでなく、解決したいという強い意志があり、未来志向であること
  - ・APUや大学を通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいという意思があること
- 【活動場所】 学校法人立命館の各キャンパス（東京、京都、大阪、滋賀、大分）およびオンライン必要に応じて、他教育機関やその他機関への往訪見学等も実施。
- 【活動テーマ】 「ないものは、つくればいい。大学はもっとおもしろくなる。」
- 【概要】 これからの未来の社会を生きる高校生の視点から、「大学」という場所のあるべき理想の姿を考える。10年後、20年後の未来社会をイメージし、自分たちが本当に行きたいと思える大学を考え、今の大学の問題点や不足しているもの、追加されるべき要素を明らかにする。その際、APUと他大学との比較、または社会や企業におけるニーズ等を調査、深掘りをした上で、提言を行う。
- 【選考方法】 一次選考：これまでに学校内外で取り組んできた活動をまとめた自己アピール文書および、活動テーマに関する自身の考えを述べた3分間のプレゼンテーション動画を提出してください。提出された文書と動画をもとに評価。  
最終選考：APU役員によるオンライン面接を実施。
- 【スケジュール】
  - ・高校生特命副学長募集：2026年2月13日（金）午前10時～4月13日（月）午前10時
  - ・結果通知：2026年5月上旬
  - ・活動期間：2026年6月～2027年3月
 活動開始時を含めて数回のAPUへ往訪を予定。また日常的な活動は、平日の夜、土日祝日、長期休暇期間を予定しています。
- 【その他】 採用された高校生とは、業務委託契約を結び、活動に対しての報酬を支払います。